

篆 刻 研 究

篆刻研究

佐藤 煒 水

今月の課題は「乙巳」とする。

早いもので、令和も七年目の正月を迎えることとなった。そこで、落款の参考になればと思い、今月の課題は今年の干支である「乙巳」とした。昨年も書いたが、干支は「十干十二支」あるいは「天干地支（てんかんちし）」ともいい、十干と十二支を組み合わせた六十を周期とする数詞のことをいう。

今年の干支は音読みで「いっし」、訓読みで「きのとみ」と読む。以前は、飛鳥時代六百四十五年に中大兄皇子・中臣鎌足らが蘇我入鹿を宮中にて暗殺して、蘇我氏を滅ぼした政変を「大化の改新」としたが、今日では「乙巳の変」というらしい。

参考作品



津川 瑞 祥



池崎みどり

落ち着いた文字の配置で作品に安定感がある。

初心者ながら誠実に挑んだ作。



矢 後 幸 燁



西 川 卓 義

余白の取り方に妙がある。

鳥虫篆を用いた意欲的な作。

【出品規定】 しめきり：二月十四日

- ① 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由です。楕円・長方形等も可）
- ② 印影を白の半紙1/4に押印し、右側に条幅出品券を貼ってください。
- ③ 応募資格に特に制限はありません。
- ④ 課題文字以外の随意作品も出品できます。消しゴム印も可。